TONE®

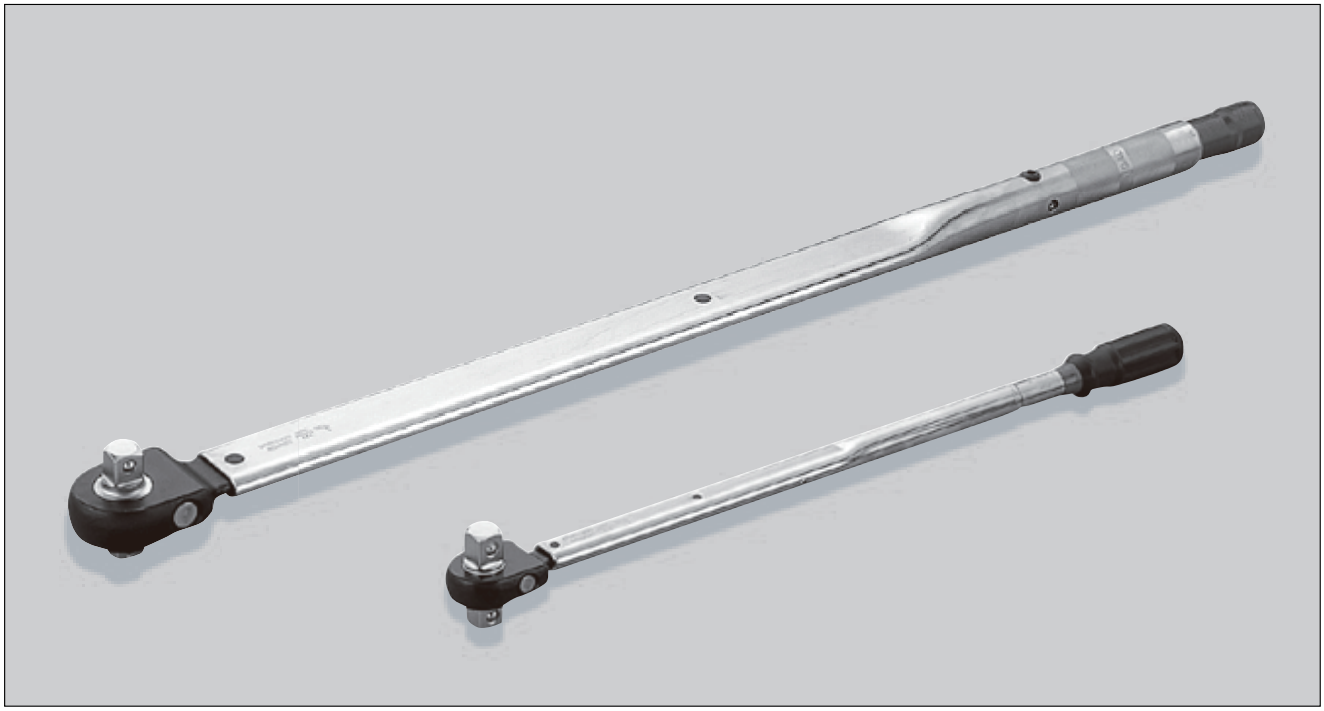
プレセット形トルクレンチ
（左右ねじ用）

要保管

製品番号

差込角12.7mm	T4LN100R	T4LN140R	T4LN200R
差込角19.0mm	T6LN300R	T6LN400R	T6LN600R
	T6LN800R		
差込角25.4mm	T8LN600R	T8LN800R	

取扱説明書 No.1310



●製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みいただき、理解していただいた上でご使用ください。

●取扱説明書は、いつでも読めるように所定の場所に大切に保管してください。

ご使用上の注意・・・1～5
各部の名称 内容品・・・6
ご使用方法・・・6～10
校正証明書の有効期限 修理・点検・・・10
仕様・・・11

TONE株式会社

このたびは「TONE プレセット形トルクレンチ（左右ねじ用）」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■本製品はボルト、ナット類の右ねじ、左ねじ両方の締付け専用のトルクレンチです。
■本製品は米国の STURTEVANT RICHMONT 社（通称リッチモント）との販売提携のトルクレンチです。
■同一トルク値での繰り返し作業が可能なトルクレンチです。
■あらかじめ設定されたトルク値に達しますと『カチッ』という音、または手に軽い『ショック』でお知らせします。

■製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みください。
■お読みになられた後は、いつでも読めるように大切に保管してください。
■万一、取扱説明書を紛失、汚損された場合、または保管用として別途、取扱説明書をご入用の方は、弊社までお申しつけください。

お買い求めの製品や取扱説明書の内容について、不明な点がございましたら、お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までお問い合わせください。

注意文の警告マークについて

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

■説明内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を下の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容のご注意。
⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容のご注意。

尚、⚠注意に区分した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

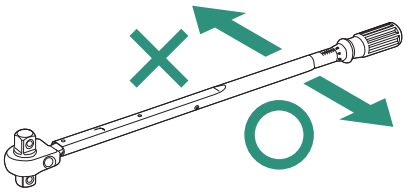
ご使用上の注意　必ずお守りください

■この製品はボルト、ナット類の右ねじ、左ねじ両方の締付け専用のトルクレンチです。この目的以外の作業には使用しないでください。

⚠警告

●緩める目的に使用しないでください。

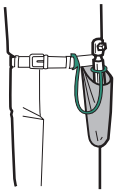
○本製品は締付け専用のトルクレンチです。緩め作業には、トルクレンチを使用しないでください。



トルクレンチの破損や、けがの原因になります。

●高所作業では必ず落下防止の処置をしてください。

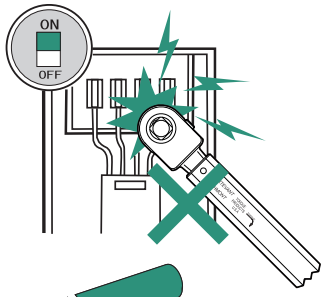
○作業場の下に、人がいないことを確認し、作業をしてください。



トルクレンチやソケットが落下したときに、けがの原因になります。

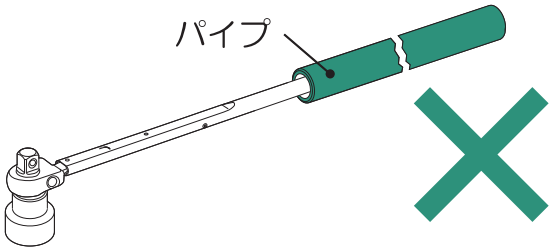
●通電中の作業はしないでください。

○絶縁された製品ではありません。作業をする場合、感電事故などの防止のために必ず元の電源を遮断してください。



感電事故の原因になります。

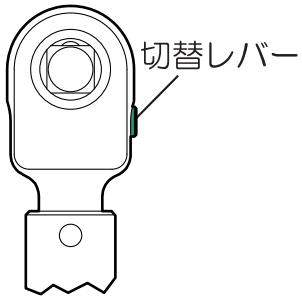
●パイプを差し込んで使用しないでください。



トルクレンチの破損や、けがの原因になります。

●切替レバーを確実に切替えてください。

○ラチェット部の切替レバーが中途半端ですと、ラチェット機構のかみ合わせが悪く、力を加えたときに外れます。



トルクレンチの破損や、けがの原因になります。

●ハンドル部および手に油、グリスなどがついたままで作業しないでください。

○作業するときは、ハンドル部および手についている油類を拭き取って滑らないことを確認してから作業をしてください。

作業中に手が滑り、事故やけがの原因になります。

ご使用上の注意　必ずお守りください

⚠警告

●長期間放置したトルクレンチは、トルク値が変動する場合があります。

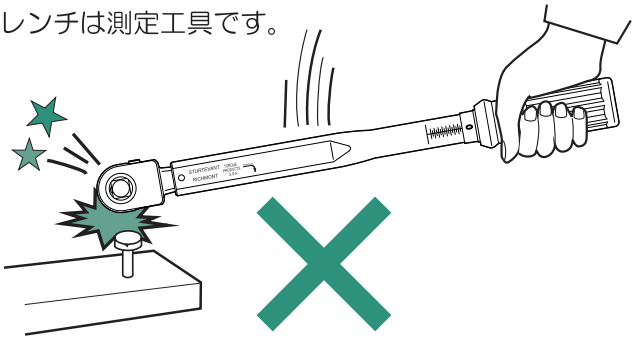
○使用するときは、改めて「点検」してください。

ボルトの締め過ぎ、締め不足の原因になります。

⚠注意

●ラチェットハンドルやハンマー代わりに使用したり、その他、放り投げるなど、乱暴に取り扱わないでください。

○トルクレンチは測定工具です。



トルク精度の異常、破損、けがの原因になります。

●能力範囲内で値を変更してください。

○能力範囲を超えて目盛が動きますが、機構上の「遊び」です。

能力範囲を超えて目盛を動かすと（最小および最大）を動かすと、故障の原因になります。

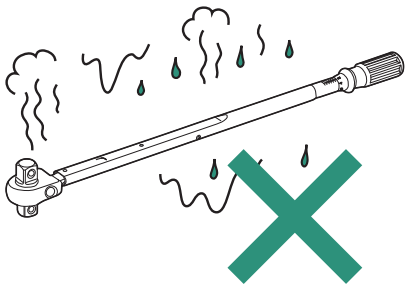
●能力範囲の最大トルク以上の負荷をかけないでください。

○能力範囲内でご使用ください。

過大負荷となり故障、けがの原因になります。

●水中、海中、多湿、高低温、油や薬品、溶剤に触れるような環境下で使用しないでください。

○本トルクレンチは左記の環境下には対応していません。液体や異物などがケース内部に入り込み、サビの発生、機能の低下につながり、本来の性能が発揮できなくなります。

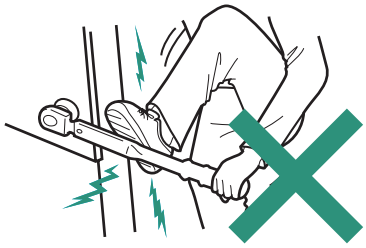


トルク精度の異常、破損、けがの原因になります。

⚠注意

●力をかけるときは、ゆっくりとかけてください。弾みなどをつけるとクリック後に力が入って過剰な締付けになり正しいトルクが出ません。

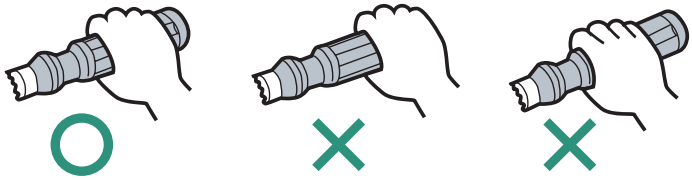
○トルクレンチを使用するときは、弾みをつけたり、体重をかけたり、足で踏みつけないでください。



正しいトルクが出ません。レンチの破損、ボルトからの外れ、けがの原因になります。

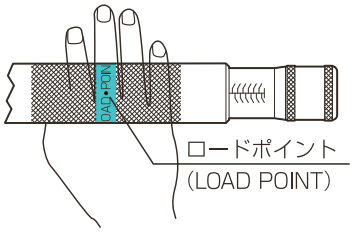
●ハンドルの中心部を握ってください。

○握る位置により、トルクの値が変わります。
T4LN100R～T6LN300R



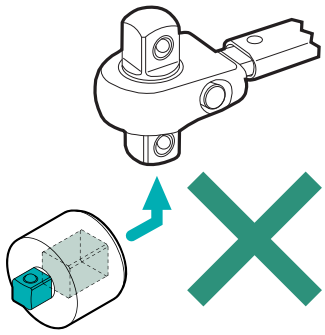
○T6LN400R～T6LN800Rはロードポイント（LOAD POINT）を中心にして握ってください。

正しいトルクが出ません。



●アダプターを使用しないでください。

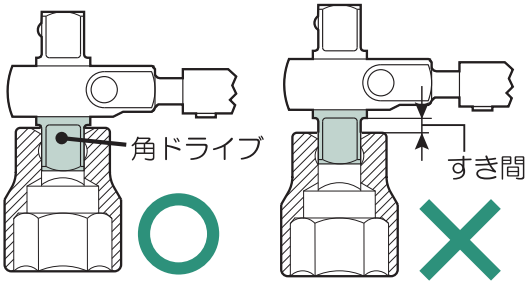
○トルクレンチの角ドライブとソケットとの間にアダプター**（トルクレンチの角ドライブより小さいタイプ）**を接続して使用しないでください。



アダプターの角ドライブが破損し、けがの原因になります。

●角ドライブは根元まで差し込んでください。

○中途半端な差し込みですと、規格以下で角ドライブが破損します。



角ドライブが破損し、けがの原因になります。
正しいトルクが出ません。

⚠注意

●『カチッ』と音がしたら締付けを止めてください。

○『カチッ』と音がしたら、速やかに締付けを止めてください。
それ以上締付けると **オーバートルク** になります。
ボルトの締め過ぎや
トルクレンチの故障の原因になります。

●分解、改造をしないでください。

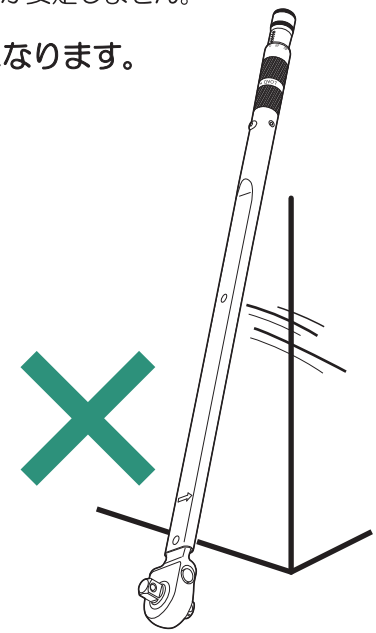
分解禁止
トルク精度の異常、故障、けがの原因になります。

●使用前に数回慣らしのテスト締付けをしてください。

○作業のはじめの数回はトルクが安定しません。
トルクがばらつく原因になります。

●立てて置かないでください。

○大型のトルクレンチを作業中、機械や壁などに立てかけたりすると倒れます。



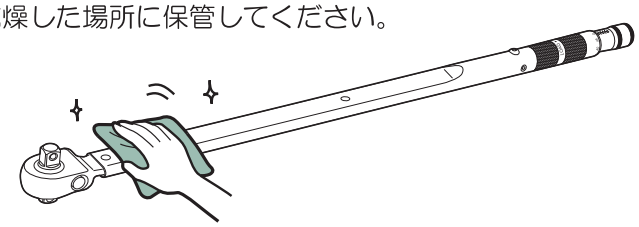
けがの原因になります。

●作業場の床面は、いつもきれいに保ってください。

○油などで床面が濡れていますと滑ります。
けがの原因になります。

●使用後は最小目盛に設定し、汚れを取り除きケースに収納の上、所定の場所に保管してください。

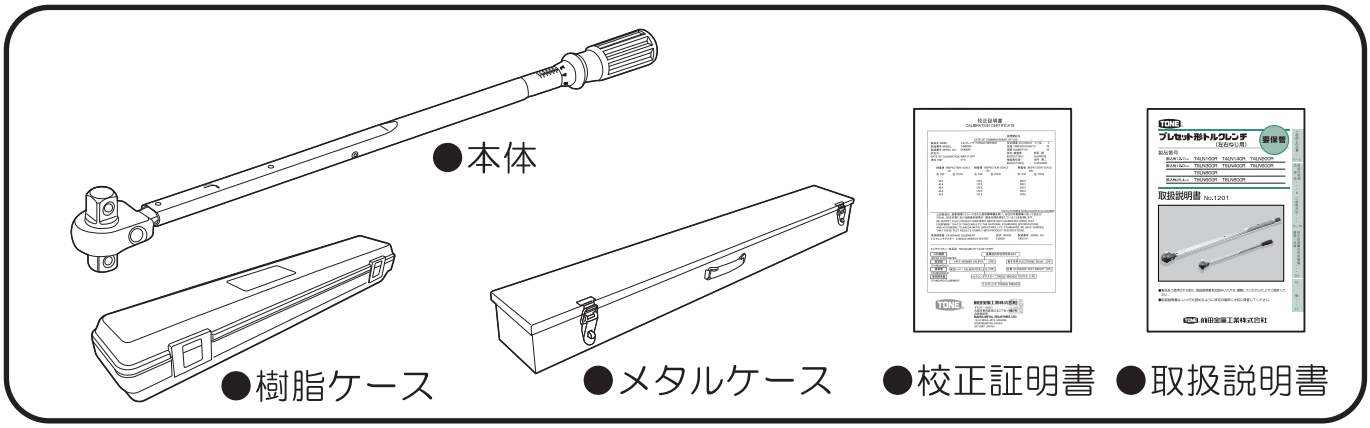
○使用後は、故障、精度不良、サビなどの原因となるゴミ、ほこり、泥、油、水分などの汚れを取り除き、ヘッド部に薄く防錆油を塗布の上、付属のケースに収納して、乾燥した場所に保管してください。



トルク精度の異常、故障、けがの原因になります。

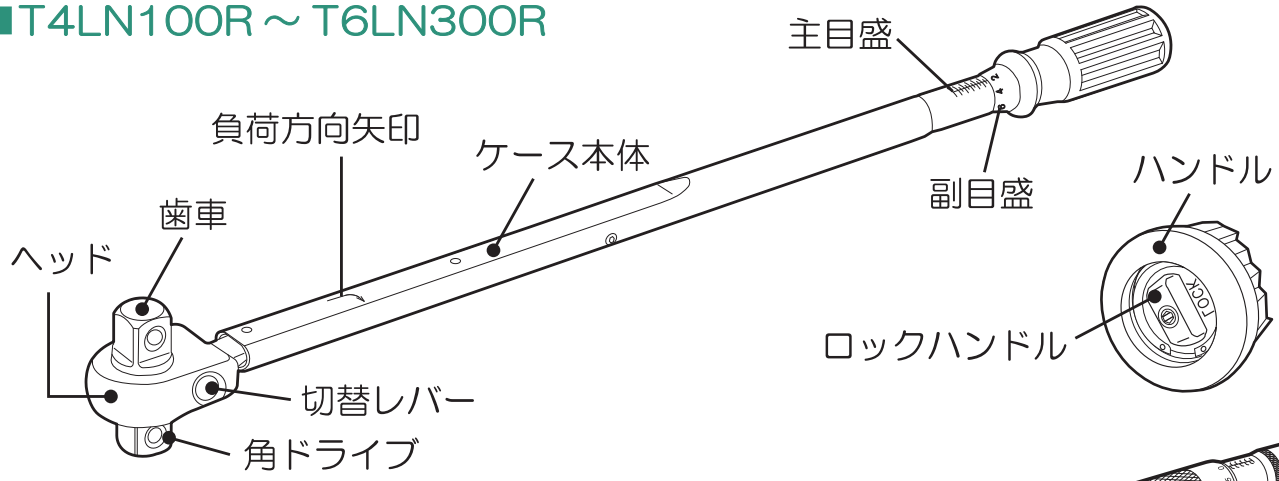
内容品

品番 / 内容品	T4LN100R	T4LN140R	T4LN200R	T6LN300R	T6LN400R	T6LN600R	T6LN800R	T8LN600R	T8LN800R
本　　体	○	○	○	○	○	○	○	○	○
校正証明書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
取扱説明書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ケ　ー　ス	樹脂ケース				メタルケース				

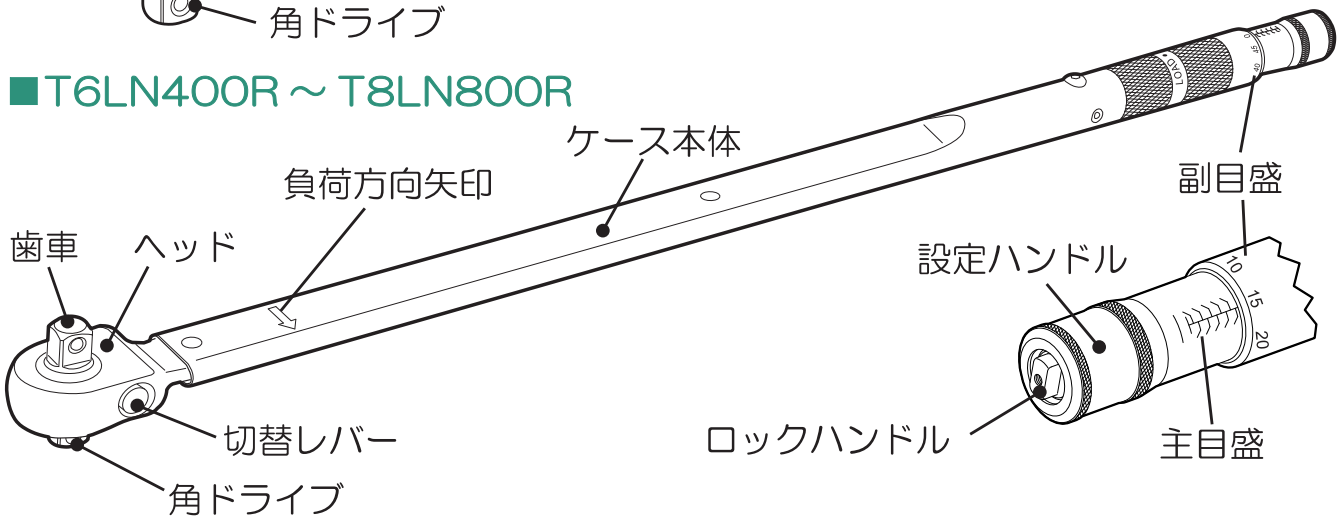


各部の名称

■T4LN100R～T6LN300R

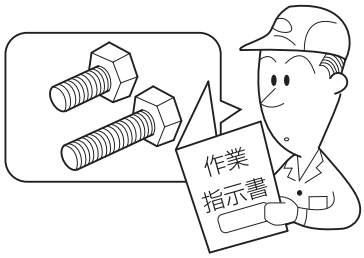


■T6LN400R～T8LN800R



ご使用になる前に

締付けようとするボルト、ナットのトルクを作業指示書で確認してください。指示トルクがない場合、ボルトメーカーに問い合わせするか、ねじの資料でお客様にてご使用になるトルクを決定してください。



《参考》

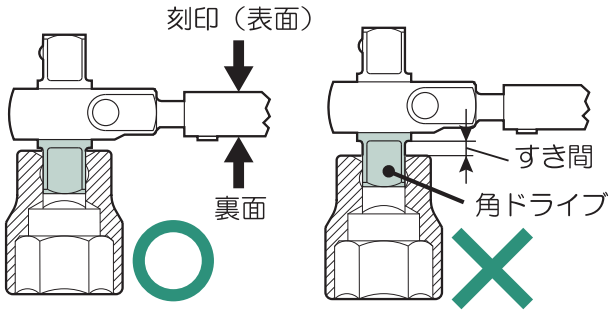
T=K・D・N

T :締付けトルク (N·m)　　K：トルク係数
D :ボルトの呼び径 (mm)　　N：ボルトの軸力（kN）

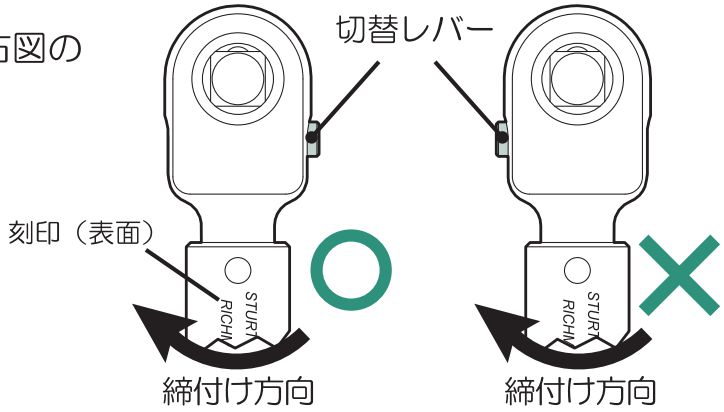
ご使用方法

右回転（右ねじ締付け）

① トルクレンチの社名や締付け方向が刻印されている側を表面（上面）とし、右回転の場合は、裏面（下面）の角ドライブのソケットレンチ用ソケットを根元まで差し込んでください。

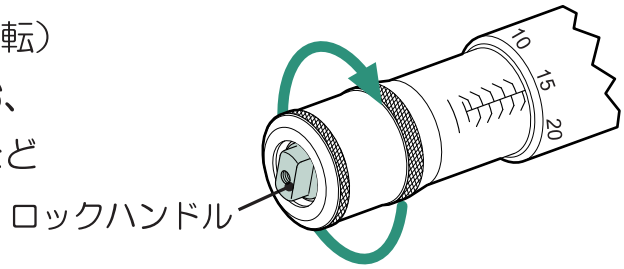


② ラチェットヘッドの切替レバーが右図の位置にあるか確認してください。

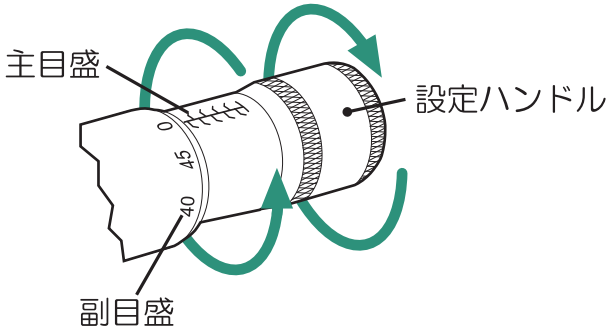


③ トルクを設定します。

●ロックハンドルを UNLOCK（右回転）方向に回して緩めてください。なお、ロックが固い場合、ラジオペンチなどで軽く挟み緩めてください。



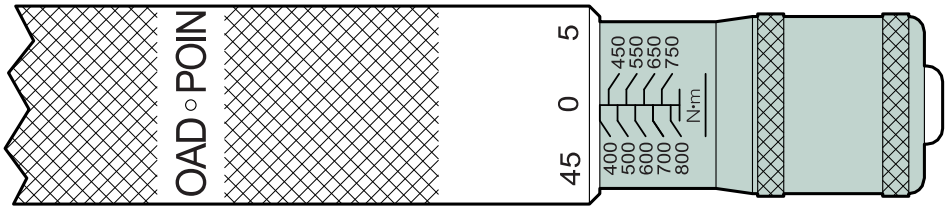
●ハンドルまたは設定ハンドルが左右に動きますので、主目盛と副目盛を使用して、希望するトルクに設定してください。



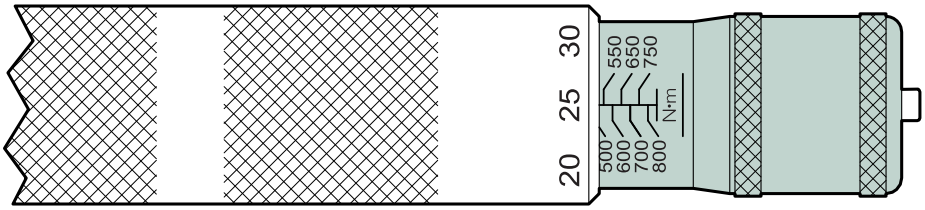
ご使用方法

「T6LN800R 及び T8LN800R での設定例」

４００N・mの場合



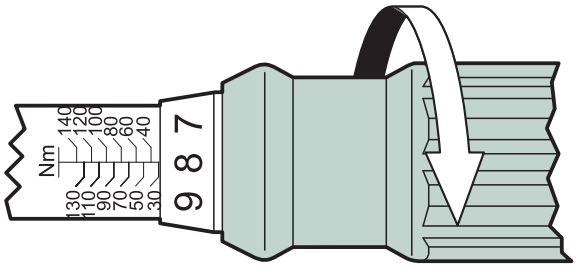
５２５N・mの場合



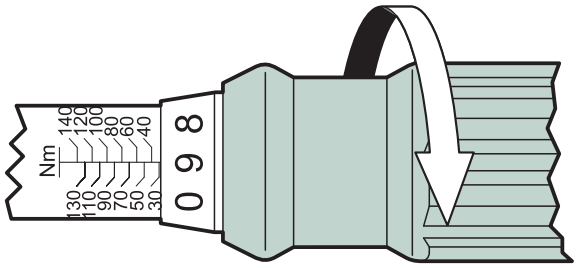
●T4LN140Rの目盛について

この機種の能力範囲は28N・m～140N・m（１目盛：１N・m）ですが、ケースに表示している目盛は３０N・mまでで、２９N・mまたは28N・m設定の場合は次のように設定してください。

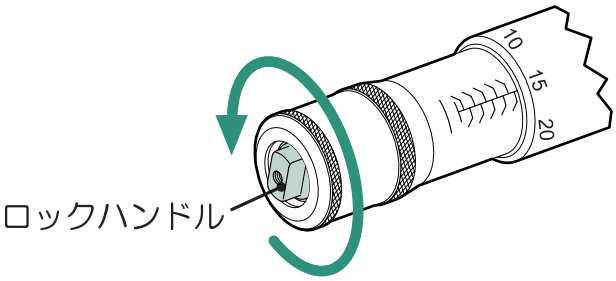
28N・mの場合
目盛を３０N・mにあわせ、そこから副目盛を２目盛下げます。



29N・mの場合
目盛を３０N・mにあわせ、そこから副目盛を1目盛下げます。



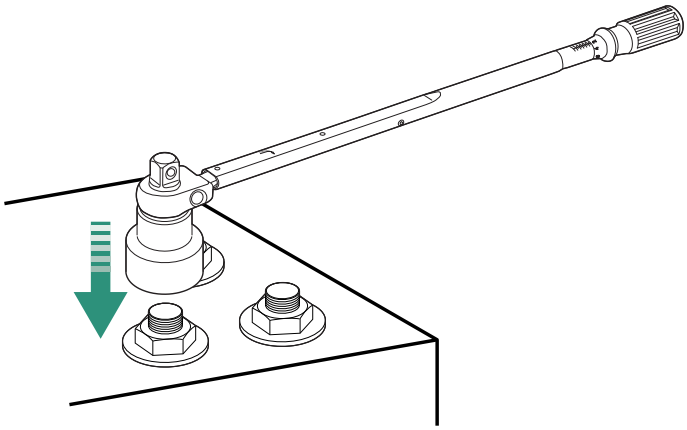
④ ロックハンドルをLOCK（左回転）方向に回し、軽く締めてハンドルまたは設定ハンドルが回転しないことを確認してください。



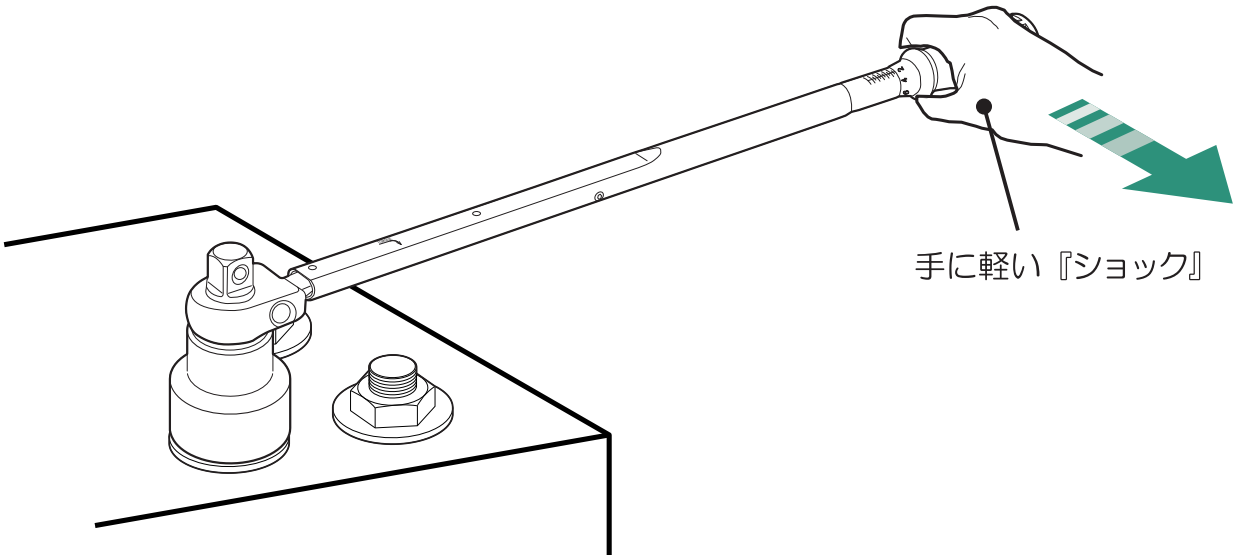
これでトルク設定は完了です。

ご使用方法

⑤ 締付けようとするボルト、ナットにソケットを差し込み、ハンドルの中心またはロードポイントの中心を握り、右回転方向にゆっくりと力をかけていきます。レンチは水平を保ち、手の力はレンチに対して垂直に作用させます。



⑥ あらかじめ設定したトルク値に達しますと『カチッ』という音または手に『ショック』が感じられ締付けは完了です。それ以上締付けると**オーバートルク**になりますので、速やかに負荷を中止してください。



⚠注意

●力をかけるときは、ゆっくりと回し、弾みをつけないでください。
正しいトルクが出ません。
トルクレンチの破損、ボルトから外れ、けがの原因になります。

●低トルクのときは『カチッ』という音、または『ショック』が感じ取りにくく、設定トルクを大きく超えて力をかけ過ぎてしまうときがありますので注意してください。
ボルトの破損、トルクレンチの故障の原因になります。

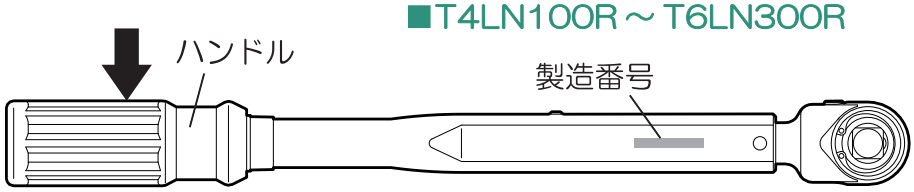
●使用後は、最小目盛に戻して保管してください。
トルク精度や耐久性の低下を防ぐために行います。

ご使用方法

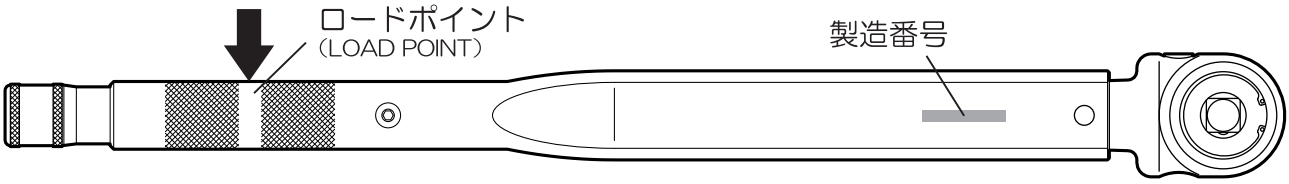
左回転（左ねじ締付け）

●本製品は左回転（左ねじ）方向にも対応できます。ご使用方法については右回転（右ねじ）方向と同じですが、必ずソケットレンチ用ソケットを表面（上面）側に付け替えて、トルクレンチを下図のように**裏返し**にして、ハンドルの中心またはロード ポイントの中心を握り（矢印部）、左回転方向に力をかけてください。

■T4LN100R～T6LN300R



■T6LN400R～T8LN800R



修理・点検

■『カチッ』という音または『ショック』が感じられなくなったときは故障です。修理・点検が必要となります**（有償）**。

■修理後のトルク精度は ±４%以内を合格とします。

■乱暴な取り扱い、長期間放置、使用頻度が多いなどの理由により、精度が狂うときがあります。精度が必要な場合は、都度点検依頼**（有償）**またはテスタ、チェッカなどで始業・終業時点検を実施してください。

■トルク機器は定期点検が必要です。目安として１年に１回、または 10 万回締付け毎に１回、定期点検をしてください**（有償）**。

■校正証明書については、ご購入された現品とお客様名が必要となります。ご入用の場合、ご購入の販売店または弊社営業所にお申しつけください**（有償）**。

■取り扱いについては、ご購入の販売店または弊社営業所にご相談ください。

校正証明書の有効期限

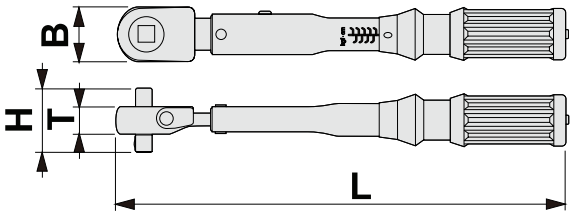
１．未使用の場合

校正証明書の校正日より１年までを精度保証期間とします。

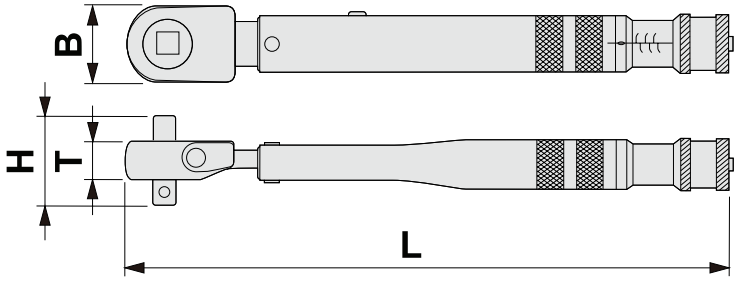
２．校正証明書の校正日より１年未満で使用を開始された場合

使用開始より１年間若しくは、「修理・点検」に記載の締付回数までとします。

仕様



ハンドル（Ⅰタイプ）



ハンドル（Ⅱタイプ）

N·m　トルク精度 ±4%

製品番号	能力範囲 最小～最大 N·m	1目盛	ハンドルタイプ	差込角 dr. mm	ヘッド幅 B mm	ヘッド高さ H mm	ヘッド厚み T mm	全長 L mm	質量 kg
T4LN100R	20～100	0.5	Ⅰ	12.7	35	48.0	15.9	371	0.70
T4LN140R	28～140	1	Ⅰ	12.7	35	48.0	15.9	456	1.00
T4LN200R	40～200	1	Ⅰ	12.7	49	54.5	20.6	470	1.00
T6LN300R	60～300	2	Ⅰ	19.0	49	66.5	20.6	614	1.70
T6LN400R	75～400	2.5	Ⅱ	19.0	68	73.0	29.4	735	4.00
T6LN600R	120～600	5	Ⅱ	19.0	68	73.0	29.4	992	5.20
T6LN800R	150～800	5	Ⅱ	19.0	68	73.0	29.4	989	5.20
T8LN600R	120～600	5	Ⅱ	25.4	68	90.0	29.4	992	5.40
T8LN800R	150～800	5	Ⅱ	25.4	68	90.0	29.4	989	5.40

トルク精度：±4%

負荷方向：右回転（時計回り）方向，左回転（反時計回り）方向

●予告なしに改良・仕様変更をする場合があります。
変更の場合、取扱説明書の内容が変わりますのでご注意ください。

TONE TONE株式会社

営業本部 営業企画部　〒586-0026　大阪府河内長野市寿町6番25号
TEL(0721)56-1850　FAX(0721)56-1851
http://www.tonetool.co.jp
e-mail：ko-eigyo@tonetool.co.jp

本社・大阪営業所　〒556-0017　大阪市浪速区湊町2丁目1番57号
TEL(06)6649-5982　FAX(06)6649-5983

札幌営業所　〒007-0840　札幌市東区北40条東19丁目2番12号
TEL(011)782-4544　FAX(011)783-2711

仙台営業所　〒984-0037　仙台市若林区蒲町字原田南32番1号
TEL(022)282-2161　FAX(022)282-2188

新潟営業所　〒955-0056　新潟県三条市嘉坪川1丁目2番29号
TEL(0256)36-6875　FAX(0256)36-6879

東京営業所　〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿2丁目27番24号
TEL(03)3446-3911　FAX(03)3446-3915

名古屋営業所　〒464-0850　名古屋市千種区今池2丁目2番36号
TEL(052)741-0043　FAX(052)741-0092

広島営業所　〒731-0111　広島市安佐南区東野1丁目18番21号
TEL(082)832-3171　FAX(082)871-3456

福岡営業所　〒812-0893　福岡市博多区那珂3丁目27番17号
TEL(092)411-7125　FAX(092)411-2620

IMK0030